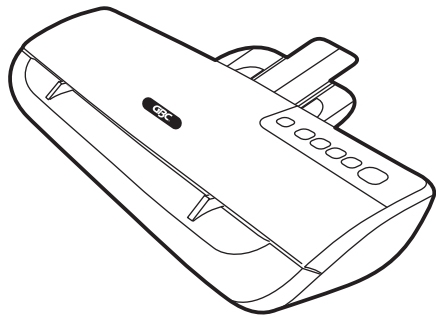




取扱説明書

パウチラミネーター フュージョン 2000L



アコ・ブランド・ジャパン株式会社

FS2000L3 V0

はじめに

このたびは弊社パウチラミネーターをお買求めいただき、ありがとうございました。
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

目次

1.内容物の確認	1
2.ご使用上の注意	2
3.各部の名称と働き	4
4.ラミネート作業上の注意	6
5.ご使用の前に	9
6.操作方法	9
7.お手入れ方法	14
8.こんなときは	15
9.製品仕様	16
◆保証とサービス	

お客様へ

- ★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。
また使用しない時は、電源プラグを抜いてください。
- ★本機はパウチフィルムの糊を溶かすためにヒーターを使用しております。
ヒーター使用機器は使用初期に若干の発煙・臭気が発生することがございます。製造上の制約で、完全に無くすることが出来ませんのでご理解下さい。これは使用回数を経ることで減少しますが、数回使用しても発煙・臭気が減少しない場合は使用を中止し、弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- ★本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用しております。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)、接触すると褐色に変色することがあります。
本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接触れないようにマット等の保護材を使用してください。



本機は二重絶縁構造のため、アース(接地)する必要のない製品です。
このマークを表示した製品は電気用品安全法に基づき製造されております。

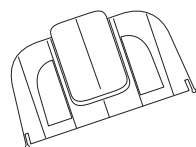
1・内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

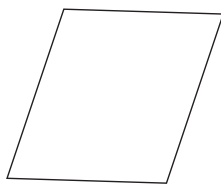
マシン本体



サポートトレイ



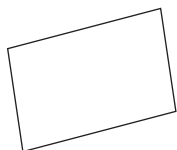
クリーニングペーパー



取扱説明書（本書）





ラミネーター使用時の注意書き



※お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

2・ご使用上の注意

表示の意味

-  **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告



危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。
※思わぬけがをする恐れがあります。



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを“オフ”にして取り除いてください。



濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。



本体内部へのエアスプレイの使用は絶対にしないでください。
※発火する恐れがあります。



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

⚠ 注意



本機は必ず屋内でご使用ください。屋外では使用しないでください。



本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。



絶対に可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れ
ないでください。
※火災の恐れがあります。



ラミネーター操作中はそばを離れないでください。
また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。



絶対に本体の上に物を置かないでください。
※本体上面は高温になります。



本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを
取り出せるスペースを取ってください。



冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

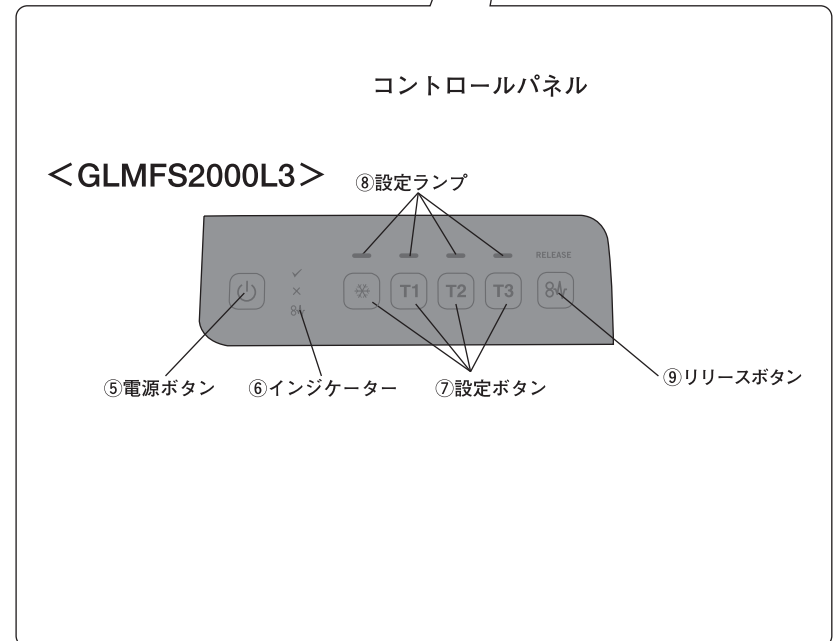
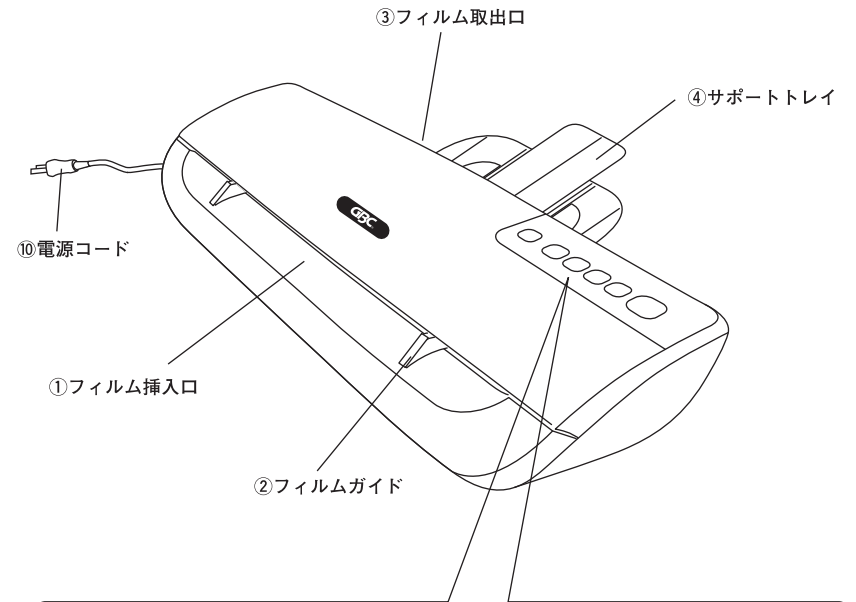


必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるよ
うに、コンセントの近くにもものをおかないでください。



電源は、延長コード含め、定格15A以上・交流100Vのコンセントを必ず単独
でご使用ください。タコ足配線はしないでください。
※感電や発熱による火災の原因になります。

3・各部の名称と働き



- ①フィルム挿入口
パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。
- ②フィルムガイド
ラミネートするフィルムサイズに合わせてセットし、このガイドに沿ってフィルムを挿入してください。
- ③フィルム取出口
ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。
- ④サポートトレイ
ラミネートするパウチフィルムを支えるトレイです。使用時は必ずサポートトレイをセットしてください。
- ⑤電源ボタン
このボタンにタッチして、電源をオン・オフします。オンの時はインジケータが点灯します。使用しない場合は、このボタンにタッチして必ずオフにしてください。
- ⑥インジケータ
電源がオン状態になっている時は、このインジケータ(ウォームアップ・加工可能・ジャミング)が点灯します。
- ⑦設定ボタン
この設定ボタン(GLMFS2000L3-※・T1・T2・T3)にタッチして、ラミネート温度を設定します。インジケータの加工可能マーク“✓”が点灯するまで待ってください。
- ⑧設定ランプ
どの設定ボタンが選択されているか、この設定ランプが点灯して示します。
- ⑨リリースボタン
加工時にフィルムがフィルム取出口から出てこない時は、リリースボタンを押し込みながら、加工物をフィルム挿入口から引き戻してください。
- ⑩電源コード
マシン本体背面にある電源コードを、必ず100V~のコンセントへ差し込んでください。

4・ラミネート作業上の注意

ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはやめてください。

ラミネートするもの

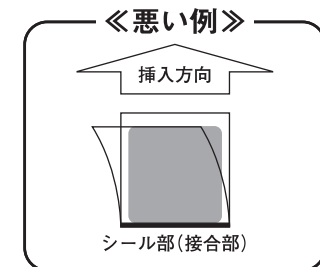
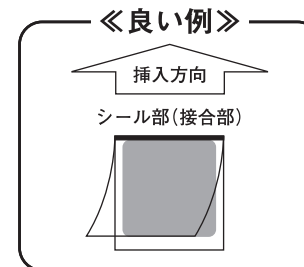
- ★ このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユポ等はラミネートしないでください。
- ★ 和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。
- ★ 可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。
- ★ 再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。
- ★ フィルムを含めて厚さ(GLMFS2000L3-0.6mm)以上になるものはラミネートしないでください。
- ★ インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

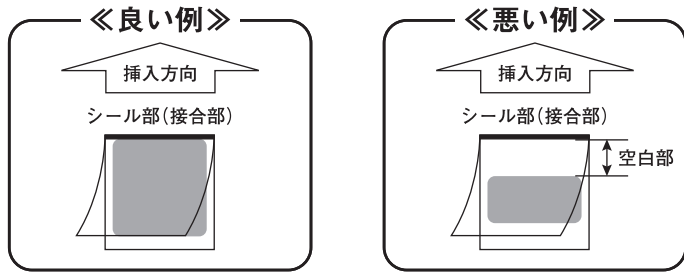
ラミネートするとき

重要 ご使用になる前に必ずお読みください。

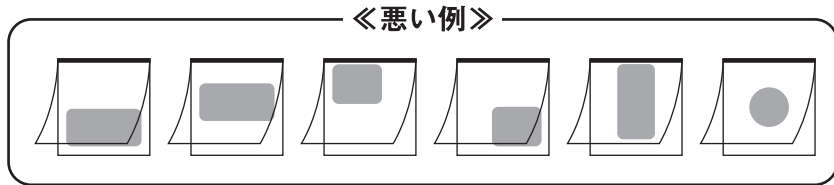
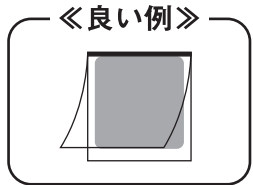
- ★ パウチフィルムは必ずシール部(接合部)からラミネーターに入れてください。絶対にパウチフィルムのシールされていない側から入れないでください。詰まりの原因となります。



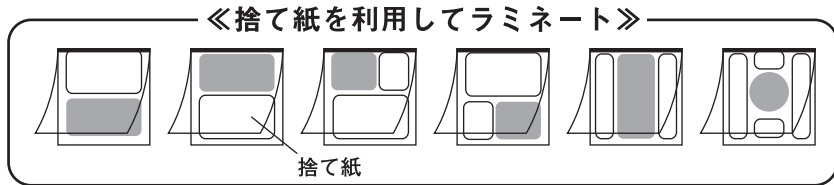
- ★ パウチフィルムのシール部(接合部)奥まで詰めて加工物をセットしてください。挿入方向に空白部分があるとフィルムがカールして詰まりの原因となります。



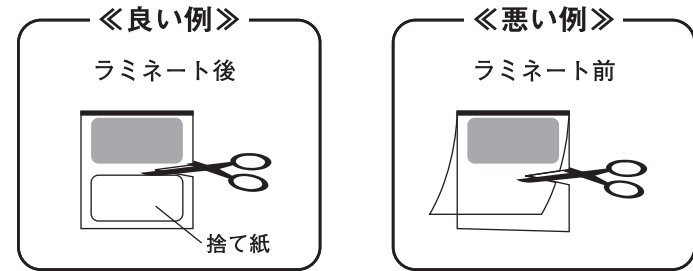
- ★ 加工物のサイズに合ったフィルムをご使用ください。
 ※フィルムサイズに合わない加工物は、捨て紙を使用してラミネート加工してください。
 ※フィルム先端部に余白部分を作らないようにしてください。
 余白部分が多い場合はフィルム内部の糊がにじみ出て、糊がローラーに付着して故障の原因となります。
 ※凹凸のあるものはラミネート加工には適していません。故障の原因となります。



対処法



- ★ ラミネートする前に、パウチフィルムをカットしないでください。詰まりの原因となります。捨て紙を使用してラミネートした後、カットしてください。



⚠ 注意	
	間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。(有償修理対象となります。)

5・ご使用の前に

<サポートトレイのセット>
使用する前に、サポートトレイを背面に差し込んでセットし、トレイ部中央を引き出してください。

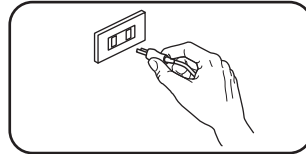
⚠ 注意



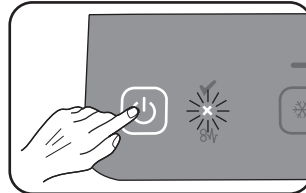
セットしたサポートトレイには下方へ無理な力を加えないでください。

6・操作方法

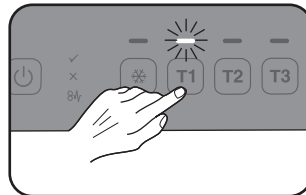
- ①電源プラグをコンセント(100V~)に差し込んでください。



- ②電源ボタンにタッチしてください。インジケータが順次点滅した後、ウォームアップマーク“X”(赤)が点灯します。



- ③使用するフィルムの厚さと加工物に合わせて、設定ボタンをタッチして、設定コードを選択してください。設定したボタンの上の設定ランプが点灯します。



<設定コード>

GLMFS2000L3(温度可変式) — ※・T1・T2・T3

<GLMFS2000L3> (温度可変式)

設定の目安

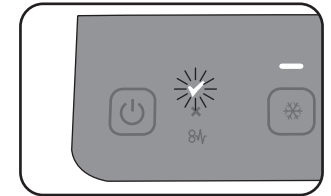
※	コールドラミネート用
T1	75ミクロン x コピー用紙
T1	75ミクロン x カタログ
T2	100ミクロン x コピー用紙
T2	100ミクロン x カタログ
T3	100ミクロン x フォト紙(89mmx127mm)

※上記にないフィルム厚と加工物の組み合わせをラミネートする際は、必ず事前にテスト加工して、仕上がりを確認してください。

※温度が高すぎるとフィルム詰まりの原因となることもありますので、数字の低い設定でテスト加工して、適切な温度設定を確認してください。

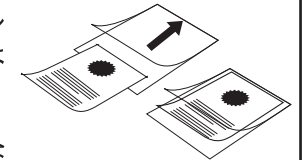
- ④約60秒後*に、ウォームアップマーク“X”(赤)が消え、加工可能マーク“✓”(緑)が点灯して、ラミネート可能なことを知らせます。
※設定温度により時間は異なります。

* (GLMFS2000L3はT1時)



重 要

★ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾(接合部)の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。

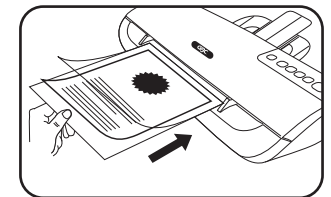


★加工可能マーク“✓”(緑)が点灯していない時は、ラミネート用フィルムを通さないでください。


★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

- ⑤フィルムガイドをサイズに合わせてスライドさせてセットしてください。

次に、シールされた側からフィルムをガイドに沿ってフィルム挿入口へまっすぐに差し込んでください。




警告




マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

警告



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを押し、“オフ”にして取り除いてください。

注意



間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

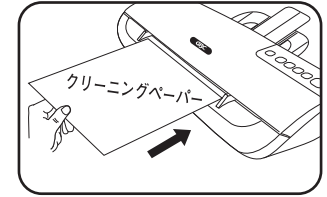
⑥パウチフィルムがマシン背面のフィルム取出口から出てきます。

⑦ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、平らなところへ置いてください。約1分間冷却して完了です。

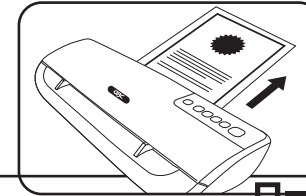
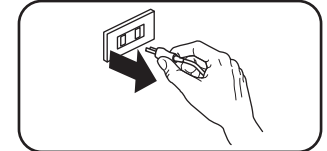
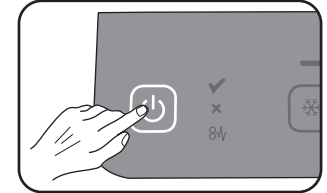
連続ラミネートをする場合

★連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

⑧ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーをフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返してください。(温度が高い状態の時に実施してください。)



⑨ローラークリーニングが終了したら、電源ボタンにタッチして電源を切ってください。また、安全のためにコンセントから電源プラグを抜いておいてください。



ローラークリーニング

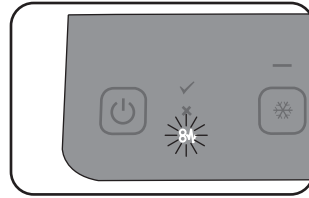
- ★ローラーが汚れているとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニング紙を使って汚れを取り除いてください。
- ★クリーニング紙がない場合は、厚手の紙(画用紙程の厚さ、200g/m²程度)を使用してください。
- ★クリーニング紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

オートシャットオフ機能

★電源が入ったまま約30分以上ご使用されない場合は、自動的に休止します。再度ご使用になる場合は電源ボタンをタッチして電源を入れ直してご使用ください。

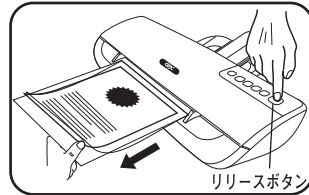
フィルム詰まりトラブル解消方法

フィルムが詰まった時、コントロールパネルのジャミングマーク“84”（赤）が点滅して知らせます。下記の方法で詰まったフィルムを取り除いてください。



<GLMFS2000L3> (リリースボタン)

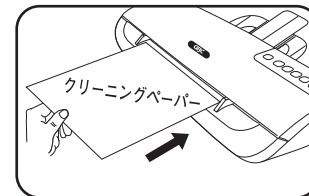
- ①片方の手でリリースボタンをしっかりと奥まで押し込みながら、詰まったフィルムをフィルム挿入口から引き戻してください。ローラーの回転は停止して、フィルムを引き出すことができます。引き出された後、自動的にローラーは正転を再開します。



※リリースボタンをしっかりと奥まで押し込まないで引き戻すと、内部機構を損傷する場合があります。

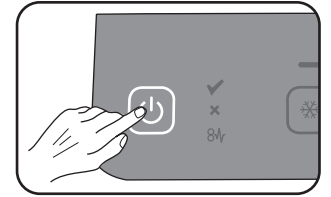
- ②必ずローラーをクリーニングしてください。

12ページのローラークリーニングの説明を参照。

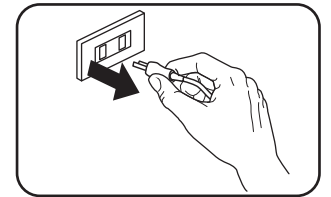


7. お手入れ方法

- ①電源ボタンにタッチして電源を切ってください。

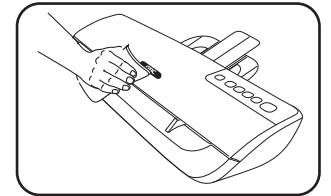


- ②電源プラグをコンセント(100V～)から抜いてください。



- ③やわらかい布でから拭きをしてください。

※お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。



★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

警告



ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。

※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

8・こんな時は

現象	原因	対処法 (参照ページ)
電源が入らない	◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？ ◇電源が入ってますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。(9ページ) 電源ボタンにタッチして電源を入れてください。インジケータが点灯していることを確認してください。(9ページ)
ホットラミネートができない	◇加工可能マーク“✓”(緑)が点灯していますか？ ◇クーラーの冷気が直接当たっていませんか？ ◇設定がコールドラミネートになっていませんか？	設定ボタンをタッチして設定した後、加工可能マーク“✓”(緑)が点灯するまでお待ちください。(10ページ) クーラーなどの冷気から離してご使用ください。(3ページ) 設定がT1・T2・T3になっているか確認してください。(10ページ)
ラミネートフィルムがはがれる	◇紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？	紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。(6ページ)
ラミネートされた加工物が波を打っている	◇ラミネート温度が高すぎます。	設定ボタンをタッチして、設定コードを下げてください。(9ページ)
ラミネートされた加工物の表面が曇っている	◇ラミネート温度が低すぎます。	設定ボタンをタッチして、設定コードを上げてください。(9ページ)
ラミネートフィルム表面が汚れる	◇ローラーのクリーニングをしていますか？	同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。(12ページ)
ラミネートフィルムが取出口から出てこない	◇ジャミングマーク“84”(赤)が点灯していませんか？	リリースボタンを押し込みながら、フィルム挿入口側から詰まった加工物を引き戻してください。(13ページ)

9・製品仕様

商品名	パウチラミネーター
	フュージョン 2000L A3
品番	GLMFS2000L3
サイズ(W) x (D) x (H)	500 x 150 (320) x 105 mm
質量 kg	2.4 kg
電源	100 V~, 50/60 Hz
定格消費電力	1,350 W
最大加工サイズ	A3 (* A3/ビには対応しておりません。)
最大ラミネート厚	0.6 mm
最大使用フィルム厚	100 μm
ラミネート速度	415mm/分(50Hz)、500mm/分(60Hz)
ラミネート温度	133~158℃
加熱方式	外部加熱方式
ウォームアップ	約 60秒(T1時)

